

# 台風に備える

台風18号により被害を受けた町道娑婆谷線

昨年9月、台風18号の影響による暴風雨により、滋賀県・京都府を中心に土砂災害や河川の氾濫など、甚大な被害を受けました。

日野町でも被災箇所は432箇所にもものぼり、今も復旧作業が続いています。

台風は備えることによって被害を少なくすることができず。各家庭でも台風に備え早め早めの対応を心がけましょう。

## 昨年の台風18号の被害状況と復旧状況

【被害状況】（平成25年10月31日時点）

- 道路被害 44か所
- 河川被害 38か所
- 急傾斜被害 15か所
- 農業施設被害 121か所
- 林道崩壊 124か所
- 建物被害 36か所
- その他 54か所

### 【主な被害復旧箇所】

- 町道娑婆谷線（中山）
- 水無川（上駒月）
- 鳥羽谷川（蓮花寺）
- 町道奥之池線（奥之池）
- 町道蔵王熊野線（熊野）

### 「想定外を想定する」

#### 鳥居平地区

鳥居平地区は、昨年の台風で、町内で最も被害箇所が多く発生した地区です。被害箇所は約30箇所。地区から日野地区方面に行く道が2本とも一時的に通行止めになりました。

鳥居平区長の奥村周一さんはその時の様子を「今まで経験した、



▲蔵王熊野線（復旧前）



▲蔵王熊野線（復旧後）

ると、田んぼ一面がまるで川のようになりコンバインが浮いていたり、あちらこちらで山が崩れていたりと被害の多さに驚きました」と語ってくださいました。

鳥居平地区には、自警組織が3つあります。65歳以下の男性の組織（自警団）・女性の組織（婦人消防）・65歳以上の組織（つなぎ隊）です。それぞれ、各組に1人ずつおられ、一人暮らしの方等をサポートされています。また、台風が迫ってくると会議所を避難所として開放し、地域の役員・自警組織

# 早めの備え 1・2・3

## 1 来る前

- ・側溝や排水口は掃除して水はけをよくしておく
- ・非常用品を持ち出し袋に入れておく
- ・地域で防災訓練を実施し、非常時の行動を体で覚える

## 2 接近したとき

- ・テレビやラジオの台風情報、町が発信している日野めぐるや、町のホームページの情報などを確認しておく
- ・危険を感じる前に「むだ足覚悟で安全な場所(避難場所等)へ避難する

## 3 避難するとき

- ・避難の前に、必ず火の始末をする。
- ・持ち物を最小限にしてリュックなどに入れ、両手は自由に使えるようにしておく
- ・頭を保護し、靴は丈夫で底の厚いものをはく。長靴は水が入ると歩きにくいので、状況によって使用の判断をする

### 要チェック!

#### ●避難準備情報

気象状況によって避難の準備を呼びかけるものです。高齢者や障がい者、妊産婦など、災害時に迅速な行動がとりにくい方は避難を始めてください。

#### ●避難勧告

災害が発生することが予想されることから安全な場所への避難を求めめるものです。勧告を行った地域に住む皆さんは避難をしてください。

#### ●避難指示

被害の危険が切迫していることから避難勧告を行った地域の方に再度、避難を求めめるものです。勧告を行った地域のうち、避難をしそびれた方は必ず避難をしてください。

#### 土砂災害の主な前兆現象

次の現象に気づいたら、とにかく早く避難しましょう

##### ▼がけ崩れ

- ・がけにひび割れができる
- ・小石がパラパラと落ちてくる
- ・がけから水が湧き出る
- ・湧き水が止まる・濁る
- ・地鳴りがする

##### ▼土石流

- ・山鳴りがする
- ・急に川の水が濁り流木等が混ざる
- ・腐った土の匂いがする
- ・降雨が続くのに川の水位が下がる
- ・立木が裂ける音や石がぶつかりあう音がする



## 安心をみんなとつくり 住みたくなるまちをめざして

### 日野町地域防災計画を 改定しました

町では、近年の異常気象の対応などを反映した「日野町地域防災計画」を改定しました。

計画では、自主防災組織の整備充実や非常用物資の備蓄、避難所・避難行動要支援者への配慮、原子力災害などといった課題への対応を定めました。「安全安心なまちづくり」の実現に向け、総合的な防災・危機管理体制の整備に努めています。



▲被害箇所を説明される奥村鳥居平区長

ことのない大雨でした。朝起きて、被害箇所を見にまわって

の方が待機されています。

「今年になってもう一度、町が発行している洪水ハザードマップを見直したり、危険箇所を把握し直したりしています」と台風が来るまでの備えを進めておられます。

昨年は台風被害の修復に必要な経費を捻出するため、以後の地域の行事をすべて中止され、災害の対応に全力を注がれました。

奥村区長さんは「昨年の台風では幸い人的被害はありませんでした。経験を教訓にして、台風などの災害に備えていきたい」と思っています。被害箇所を説明しながら話してくださいました。



▲水防本部(役場)の様子

